

山鉾町と山鉾紹介

鍬山神社

上矢田町



大己貴命(大国主命)と誉田別尊(応神天皇)の二柱を祀る、和銅2年(709年)創建の古社、現在の本殿は、文化11年(1814年)に再建されたもので、荘厳な一間社流造の様式が特徴。
秋には約500本の鮮やかな紅葉が境内を美しく染め上げます。

羽衣山

西豎町・東豎町



羽衣山のご神体は、謡曲「羽衣」の天女と漁夫。
2002年に130年ぶりに曳山として復元・新調され、懸装品は町衆によって手作りされたもの。

【所在】西豎町・東豎町
【建造】1785年頃
2002年再建
【高さ・重さ】11.0m、3.2t

難波山

矢田町・京町・上矢田町



儒教と漢字を伝えたと言われている「王仁」がご神体。
1799年、難波山が改装されたとき、町衆は10年間にわたって質素儉約に努め、経費を捻出したと記されています。

【所在】矢田町・京町・上矢田町
【建造】1777年頃
1799年曳山に改造
【高さ・重さ】10.0m、2.5t

翁山

三宅町



翁山は、直径145cmの大きな車輪が特徴。前掛幕は三国志の主人公である劉備、関羽、張飛を描いた「桃園の結義図」。見送幕は「鳳凰額八仙人図」で文政十二年に再興、新調された。いずれも京都西陣の大型綴錦。

【所在】三宅町
【建造】1829年
【高さ・重さ】11.0m、2.9t

浦島山

呉服町



浦島山のご神体は、釣竿を手にした浦島太郎。胴幕の天水引と見送幕は、熊野忠兵衛が1799年に寄付したもので、天水引は中国清朝の皇族クラスの官服原反を水引に仕立てたもの。

【所在】呉服町
【建造】1789年頃
1993年復活
【高さ・重さ】3.8m、0.6t

稲荷山

新町・旅籠町



稲穂を天秤棒で背負う「稲荷神の倉稲魂」がご神体。山の造営時期は、寛延4年(1751年)頃。
文久3年(1863年)に新調された旧前懸幕の「浅葱地雲龍文様繡珍綿」は、中国清朝の皇族が使用するような優品。現在の前懸けは、平成11年に復元新調。

【所在】新町・旅籠町
【建造】1751年頃
【高さ・重さ】4.1m、0.6t

蛭子山

塩屋町



大きな鯛を手にして、にっこり笑った蛭子さまがご神体です。3人のオランダ人を描いた京都西陣大型綴錦の見送幕は、鎖国時代の中で外国の風景を題材にしたものの。

【所在】塩屋町
【建造】1751年頃
【高さ・重さ】3.9m、0.6t

三輪山

本町



奈良県三輪山麓にある大神神社の「大物主大神」をご神体とし、能楽「三輪」の後シテが神像。
1781年に曳山の鉾として改装され、併せて胴幕(イギリス製)・見送幕(インド製)を新調。

【所在】本町
【建造】1749年
【高さ・重さ】11.2m、2.7t

八幡山

西町



各鉾町の氏神である鍬山神社には、大国主神と八幡神社がお祀りしてありますが、八幡山はこの八幡神がご神体。
八幡山は、もともと昇山として造営されたが、1841年に現在の曳山に改装。

【所在】西町
【建造】1763年
【高さ・重さ】11.6m、2.7t

高砂山

柳町



謡曲「尉」と「姥」がご神体です。蝶や蝙蝠等をあしらった幾何学模様の胴幕は、敦煌の仏教遺跡で知られる中国甘粛省で織られた毛織物。

【所在】柳町
【建造】1755年
1825年曳山に改造
【高さ・重さ】9.5m、2.3t

武内山

紺屋町



神功皇后が宇佐宮で安産された幼い応神天皇を、武内宿称が抱いている姿がご神体です。
1807年に新調された見送幕は、中国清朝の皇族クラスが使用する優品。

【所在】紺屋町
【建造】1777年頃
【高さ・重さ】9.4m、2.5t

鍬山

北町



「鍬山大明神」をご神体とする鍬山の懸装品のほとんどは、1811年に新調されたもので、胴懸幕はイギリスのヴィクトリア製のもの。
鍬山は2005年、町衆によって曳山に復元。

【所在】北町
【建造】2005年曳山に復元
【高さ・重さ】11.0m、2.6t

しるし イラスト作成：本間 茂氏

ホームページでも山鉾町と山鉾の詳しい紹介をご覧ください



森の京都

京都

亀岡祭

宵宮(24日土)

山鉾名	お囃子	催し
翁山	18:30~21:30	・お神酒接待(19:00~21:00) ・コーヒー接待(19:00~21:00) 先着100名様(雨天中止)
羽衣山	18:30~21:30	・お神酒接待(19:00~21:00) ・夜店(18:00~21:30)
浦島山	—	・お神酒接待(18:00~21:00) ・昆布茶接待(18:00~21:00)
難波山	18:30~21:30	・お神酒接待(18:00~21:00)
稲荷山	—	・お神酒接待(18:00~21:00)
蛭子山	—	・お神酒接待(18:00~21:00) ・バルーンパフォーマンス(17:00~21:00)
高砂山	18:45~21:00	・お神酒接待(18:30~21:00)
三輪山	18:45~21:30	・お神酒接待(19:00~21:30) ・甘酒接待(19:00~無くなり次第終了)
武内山	19:00~21:00	・お神酒接待(18:00~21:00)
八幡山	19:00~21:00	・お神酒接待(19:00~21:00)
鍬山	18:30~20:30	・お神酒接待(18:00~21:00)

10月

24日土 宵宮

夕方より囃子演奏／亀岡・あんどの路

25日日 本祭

旅籠町通り集結・くじ改めの儀
【巡行予定時刻】9:30~13:00頃

京都府登録無形民俗文化財
亀岡市指定無形民俗文化財

最新の開催状況等については
亀岡祭公式ホームページを
ご覧ください

亀岡祭 🔍 検索

※お車運転の方にはお神酒は提供いたしません。公共交通機関をご利用ください。

■お車運転の方にはお神酒は提供いたしません。公共交通機関をご利用ください。

主催／亀岡祭山鉾連合会 後援／亀岡市・亀岡商工会議所・(一社)亀岡市観光協会

亀岡祭山鉾連合会

お問い合わせ

JR亀岡駅観光案内所

TEL.0771-22-0691

城下町 in 亀岡祭 フェスティバル

令和8年
10月24日(土)・25日(日)
宵宮 本祭

※諸事情により、やむを得ず行事が変更になる場合があります。

山鉾町は赤字で表示しています。

亀岡・あんどん路
(マップ中の通りに、
で表示)



令和8年度 亀岡祭山鉾行事にともなう交通規制

※交通規制は変更になる可能性がございます。当日のコミュニティバスの運行については
亀岡市公式ホームページをご確認ください。

10月24日(土) 宵宮



10月25日(日) 本祭

